

## 先駆的 ICT に関する懇談会（第 5 回）議事要旨

1. 日 時 平成 30 年 6 月 29 日（金）14 時 00 分～15 時 00 分

2. 場 所 中央合同庁舎（総務省）9 階 第 3 特別会議室

3. 出席者

（メンバー）

田中様（甲田様の代理）、竹村様（物部様の代理）、西山様（熊谷様の代理）、田中様、村井様、田口様、小亀様（加納様の代理）、藤野様、丸山様（西川様の代理）

（総務省）

野田総務大臣、坂井総務副大臣、小林総務大臣政務官

鈴木総務審議官、武田総括審議官、山田情報流通行政局長、

吉田総括審議官（情報通信担当）、吉岡審議官、今川情報通信政策課長 他

4. 議 題

1 開会

2 ブロックチェーン等による生産性向上に関するプレゼンテーション

3 意見交換

4 閉会

5. 資 料

資料 5 - 1 GMO インターネット西山副社長 プレゼン資料

資料 5 - 2 bitFlyer 小亀執行役員 COO プレゼン資料

参考資料 5 - 1 テレワーク・デイズ 2018 の実施について

6. 議事要旨

（1）開会

（2）野田総務大臣挨拶

（3）ブロックチェーン等による生産性向上に関するプレゼンテーション

資料 5 - 1 から 5 - 2 にもとづき、西山様及び小亀様からプレゼンテーションが行われた。

（4）意見交換

意見交換の概要は以下のとおり。

- ・ブロックチェーンでしか実現できないというものは無いが、ブロックチェーンが持っている利点を上手く活用することで、既存よりも良いサービスを実現できる。
- ・プライベート・ブロックチェーンは行政システムに向いているという印象。

- ・ブロックチェーンという技術を正しく理解し、ブロックチェーンの特性を踏まえ、どのようなことに活用できるのか、逆にどのようなことには活用しない方が良いのかを明確にしていくことが重要。
- ・ブロックチェーンのような最先端の技術について、具体的に行政においてどのように活用できるのか検討を進めていくためには、技術と行政の間の橋渡し役が重要。
- ・ブロックチェーンは閉塞感の漂う旧来型の日本経済を大きく変えてくれる技術の一つであり、我々も上手く活用していけるよう、勇気を持って果敢に関わっていきたい。

以 上